

2021年6月21日
住友生命保険相互会社

Vitality 健康プログラムを通じた「がん予防啓発」の取り組み ～アクティブチャレンジを活用した日本対がん協会への寄付開始～

住友生命保険相互会社（代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の加入者（以下「Vitality 会員」）の日々の健康増進活動への取り組みを通じて、がん予防やがん検診の推進等、がん征圧活動に取り組む公益財団法人日本対がん協会（会長 垣添 忠生、以下「日本対がん協会」）への寄付を6月22日から開始します。

寄付は、1週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンクのチケットを特典として獲得できるアクティブチャレンジの仕組みを活用し、Vitality 会員が獲得したチケットを使用する代わりに、日本対がん協会への寄付を選択することで行われます。

住友生命は2021年3月23日に、「がんと共に生きる」時代に対応する新商品「がんPLUS ALIVE」を発売しました。同商品の発売に加え、“住友生命「Vitality」”を通じて、がん征圧活動に取り組む日本対がん協会への寄付を導入することで、Vitality 会員の健康増進活動への取り組みが世の中のがん予防啓発を推し進めるという広がりを見せ、ひいては健康長寿社会の実現につながるものだと考えています。

住友生命では、「社会になくてはならない保険会社」の実現を目指し、こうした事業活動を通じて持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けた取り組みを進めてまいります。



＜“住友生命「Vitality」”を通じた日本対がん協会への寄付について＞



- ・ 寄付は、Vitality 健康プログラムの1つであるアクティブチャレンジを通じて行います。
- ・ アクティブチャレンジとは、1週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンクのチケット獲得できる特典です。
- ・ 獲得したチケットを使用する代わりに、日本対がん協会への寄付を選択することでチケットと同額（100円～500円）の寄付が行われます

＜日本対がん協会とのこれまでの取組み＞

住友生命は社会貢献活動の重点分野の1つである「健康増進」の具体的な取組みとして、日本対がん協会の活動に賛同し、毎年支援を実施しています。

1. ピンクリボン運動を応援

がんへの備えをサポートするだけでなく、より多くの方に乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の大切さを伝えることも、生命保険会社としての重要な社会的責任であると考え、2007年度よりピンクリボン運動を応援しています。

2. リレー・フォー・ライフへの特別協賛

日本対がん協会が全国で展開しているチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」に特別協賛し、ヒューマニー活動（職員のボランティア活動）の一環として参加しています。

3. 未来応援サービスを通じた寄付

住友生命の契約者向け特典である未来応援サービスのスミセイ・マイル[※]の交換先として、日本対がん協会への寄付を選択できます。

※詳細は <https://www.sumitomolife.co.jp/about/customers/service.html> をご確認ください。

■日本対がん協会の概要

団体名	： 公益財団法人日本対がん協会
設立	： 1958年8月
事業内容	： がんの予防とがんに関する知識の普及啓発ならびに情報発信、がん検診の推進等がん征圧と患者支援に資する事業
協会所在地	： 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング9階
代表者	： 会長 垣添 忠生
検診受診者数	： 日本対がん協会発足以来の受診者はのべ3億9000万人以上

以上